



年頭のごあいさつ

北海道林産技術普及協会

会長 高橋二郎

昭和63年の新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には、ご家族ともどもご健勝にて新年を迎えられましたことと、心からお慶び申し上げますとともに、一層のご繁栄を祈念申し上げる次第です。

さて、一昨年来、内需振興対策が進められ、昨年は国の大型補正追加予算の発動、住宅建設の大幅増加など、明るい展望が開けてきました。木材産業・林業は永い間の不振から、ようやく脱出できそうであります。これも需要拡大運動の成果の表れで、木の良さが見直されてきたこと、加えて建築基準法の改正で木造3階建てや内装制限の緩和等が図られて、今後、更に期待が持てる状況にあります。

このような時こそ、木材の品質性能の安定化を図り、粗悪品の追放に業界あげて対処すべきと考えます。そのためには、施工容易な部材化や品質性能の明確な表示をする必要があります。昨年7月、旭川市で開催されました北海道林業年次大会で、木製品の品質安定化と性能表示、更に品質保証体制の確立を図り、木の復権の定着化と永續化を実現することが決議された次第です。北海道立林産試験場のご支援のもとに、当協会はこの面に重点を置いた技術開発の推進、普及事業の強化に力を注ぎたいと考えております。

当協会は昨年度、中小企業庁・北海道から補助金の交付をうけて「地場工業デザイン高度化特定事業」を実施、木製屋外施設のデザイン開発と普及に努めました。

更に本年度は、中小企業団より委託を受け、国・道の助成等のもとに、「加速的技術開発支援事業」を静内町・津別町・清里町で実施しております。

これも、当協会の活動が広く国・道から認められた証左であり、この期待にこたえられるよう精一杯の努力をいたしますが、更に組織強化も図っていきたくと考えております。

このような時期にあたり、北海道立林産試験場に今まで蓄積された技術、更に新しい技術要請にこたえられ、林業・林産業のために特段のお力添えをお願いいたします。

当協会としては、業界の皆様方の意向をくみ上げ、その役目を果たしてまいりたいと考えておりますので、当協会の役員の方々、会員の皆様方には一層のご支援とご指導を賜りますようお願いを申し上げ、新春のご挨拶といたします。